

平成 28 年度千葉県介護人材確保対策事業

いすみ市介護サービス事業者連絡協議会 第 2 回研修会(報告書)

日時 平成 28 年 9 月 9 日(金)13 時 30 分から 16 時

場所 夷隅文化会館 研修室

内容 「摂食嚥下障害の特徴と食事介助のポイントについて」

～知っておこう!!摂食・嚥下のメカニズム～

講師 医療法人財団高輪会 歯科衛生士 渡辺昭子氏・齋藤茂美氏

参加者 35 名

(司会進行 伊藤英)

1、開会 会長挨拶 (吉田好美会長)

貴重な時間を割いていただきありがとうございます。来る道中、自然の中で働ける喜び、勉強できることの喜びを感じます。我々の 4 つのプロセス①消化②吸収③燃焼④排泄をもって健康と言える。どれを欠いてもいけない。今日はそのスタートの部分学ぶ。一つでも多く、貴重な時間を吸収、燃焼していただきたい。

2、講演

13:40～15:00 渡辺昭子氏

「摂食嚥下障害の特徴と食事介助のポイント」

★資料参照

(休憩 10 分)

15:10～15:50 齋藤茂美氏

「口腔ケアの必要性」 ★資料参照

15:50～15:55 質疑応答

Q、総入れ歯が合わなくなり、歯茎で食事。家族から最後にイソジンで消毒を求められるが本当に良いのか。

A、イソジンうがいでは口腔乾燥を進めてしまうので勧められない。『コンクール』など代用品もある。

Q、左マヒ、食事中のくしゃみに何か対策はないか。

A、ふさいでしまわないこと。喀出できているだけ良いこと。



3、講評・閉会（小室副会長）

いすみ市、高齢化率 38%超。施設、在宅での利用者のケアのポイントが身になったと思う。介護報酬の下で仕事している中、些細な介護事故で訴えられる。利用者の身体状況をわからないご家族へ理解を求めることは大変困難。今日の夕食から、明日の朝食から今日の講義を生かせるように今日来ていない職員にも伝達してもらいたい。

以上